



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくらい内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

令和4年9月

# うるわし通信

## 土舞台顕彰50周年を迎えるにあたって(寄稿)

社会福祉法人飛鳥学院 院長 河村善一

50年前の昭和47年（1972年）11月4日、土舞台の碑の除幕式典が桜井市主催により執り行われました。私は現在54歳ですから記憶もありませんし、当然、出席もしておりませんが、式典の様子を映したフィルム

や写真や文献から、それがとても華やかで、アカデミックで、文化的で、芸術的な場面であったであろうと容易に想像できます。



50年前の土舞台顕彰除幕式 風景

昭和47年は高度成長期の末期にあたり、桜井市

も木材業、素麺業を中心に多くの産業が最盛期を迎え、今より資金的余裕があったでしょうが、ノーベル賞受賞者 朝永振一郎博士、芸能界より森繁久彌さん、仲谷昇さん、岡田真澄さん、名古屋章さん、赤木春恵さん、岸田今日子さんなど各界著名人をお迎えしての盛大な除幕式は、土舞台顕彰会のメンバーだけでなく、当時の池田栄三郎市長や保田與重郎さん等たくさんの方々の大変なご尽力や情熱が無くては成しえ

なかったのではないのでしょうか。

土舞台の碑の除幕式の翌日である11月5日には、記紀・万葉歌碑の除幕式も行われており、桜井市を挙げての一連の祝賀ムードを誘引したのは、桜井市の大勢の方の郷土愛であり、芸能発祥地であることに象徴される文化的・芸術的な誇りであり、アカデミックであることの自負であり、故郷の発展を願う希望であったはずで、土舞台顕彰会はその時、保田與重郎さんと姻戚関係にあった初代会長西垣榮一氏を中心に発足し、以来、2代目会長重坂眞一氏、3代目会長宮本貞昭氏、4代目会長河村喜太郎と歩みを止めることなく思いを引き継いできました。西垣会長から重坂会長にバトンタッチされた昭和50年には除幕式の祝賀ムードの流れのまま、第1回万葉まつりが開催されました。重坂会長には平成19年度まで約30年間会長を務めて頂き、主に「箒能」を開催されました。



宮本会長の時代には「ユーラシアアンサンブル」として中東や中国大陸で古くから伝わる楽器を演奏



し、聖徳太子の時代に思いを馳せました。

私は、土舞台に近い社会福祉法人飛鳥学院に勤務しており、7年ほど前から土舞台顕彰会に携わるようになりました。土舞台顕彰会の歴史を知るにつれ、先達の情熱をこれからも繋いでいかなければとの思いが湧いてきています。そして、今年度はまさに50周年を迎えます。節目となる50周年にあたり、以下の4事業を展開致します。

#### ◆土舞台周辺整備事業（10月16日）

市内の天理教ひのきしん隊にご協力頂き、桜井公園（土舞台）の樹木伐採などを実施

#### ◆土舞台顕彰大祭（11月5日）

桜井市に縁のある舞踏家 磨赤児氏が奉納舞踏を行い、同日午後より桜井市立図書館にて天理大学の佐藤浩司名誉教授とシンポジウムを開催します。

#### ◆伎楽上演（11月5日）

天理大学雅楽部による伎楽上演

#### ◆こどもミュージカル

（11月6日）

桜井市内の小中学生が6月末より毎週練習を行っており、桜井市立図書館で発表します。ミュージカル



子どもミュージカルの練習風景



磨赤児氏と土舞台碑前で

ミュージカルの取組みを通じて、歌や踊りを学ぶと共に、土舞台の歴史なども学習して、地域に誇りを感じられるような成長を目指しています。

土舞台顕彰会50周年記念は、我々会員だけのものではなく、桜井市民全員が郷土愛と誇りを再確認し、将来に繋げる大きな第一歩となって欲しいと切に願っております。当時の状況や故人をご存じの方は、大いに語っていただきたく、若い市民も郷土愛を深め桜井市の懐の深さを感じ取ってもらえればと思います。繰り返しになりますが、この50周年は桜井市を挙げて盛り上げてまいりたく、大勢の方々のご協力をお願い致します。



# 2022大和さくらい万葉まつり

今年の大和さくらい万葉まつりは、11月5日(土)午前11時から桜井市役所新庁舎前に整備される地域交流広場での開催が決定した。

実行委員会は桜井青年会議所・商工会女性部青年部・木協青年部・建築組合・自動車整備振興組合桜井支部をはじめ市内の主要団体で構成され、日本書記による我が国最古の市とされる海石榴市(つばいち)が再現され、飲食・地場産物販店が軒を連ね、市民の憩いの場・夏の思い出作りの場として、長年親しまれる定番の祭りで第47回目を迎える。



## 現代版『海石榴市』 つばいち

万葉のふるさと桜井に想いをこめた地場産業紹介・地域の企業や個人の出店・伝統工芸の展示販売などで毎年 大繁盛。ここでしか味わえない手づくりのお店、イキのいいお店が出店されます。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2年間開催の実施は中止されていたが、実行委員会は2021年10月2日のシークレット花火の打ち上げや第46回はYouTubeによる動画配信を行うなど、祭りへの熱い思いは受け継がれていました。

第46回万葉まつりWEB動画



[動画配信サイトはこちら\(Youtubeチャンネル\)](#)

実行委員長の藤井剛士氏にお話を聞くと「毎年夏に開催される祭りが11月になり、新たな場所での催し、そして新型コロナウイルス対策と例年以上に検討事項は多岐に亘りますが、各協力協賛団体と共に桜井市民の皆様が盛り上がる祭りにしていきたいと考えています。」と述べられている。

「長年市民に親しまれてきた祭りを途絶えさせたくない、次の世代に引き継ぎたい」という、力強い熱意を感じた、皆さまのご参加を期待しています。

\* 桜井駅から会場までのシャトルバスの運行を予定、詳しくは万葉まつりホームページ参照。

## 桜井市観光基本計画について学習会を開催

この度、第2期桜井市観光基本計画(令和4年度から令和8年度の5年間)が策定され、今後の新しい観光の目指すべき将来像が示されました。本会事務局としても上記計画の策定時のパブリックコメントの応募に参加し、提言してきました。

とりわけ、市主催による「観光シンポジウム」を開催して、基本計画の取組みの報告と参加者による意見交換会を行って、観光への市民の関心を高める方策を計画の中に組み入れられたいと、市民参加による継続的な取組みを提起して来たところです。

つきましては、標記の学習会を開催しますので、今後の観光を通じたまちづくりに関心をお持ちの方々の参加を呼びかけます。

桜井市より講師として、観光まちづくり課長の出席を頂きます(出前講座)。また、講演後参加者による「桜井市の今後の観光振興について」意見交換を1時間程度予定しております。

日時 令和4年10月23日(日)13:30~

場所 市民活動交流拠点研修室①

申込先 くすき TEL090-3284-0405 会場の都合により先着20名までとさせていただきます。

## 桜井図書館友の会

9月と10月の読書会は、指定書籍を設定せず、両日とも参加者が読んだ本を紹介して頂きます、お薦めの本をご持参下さい。

日時：9月27日(火)15:00~17:00

日時：10月25日(火)15:00~17:00

場所：桜井市市民活動交流拠点会議室(エルト桜井2階内)

\*問合せ先 南部 ☎ 0744-43-5949

友の会会員以外の参加も歓迎します。



### 【編集後記】

昨年の秋は短かった。無かったと思われた人もおられたかも知れない。今年はどうなるか？さて、さまざまな危機的状況にあるこの地球。熱風・長雨・土石流・コロナ等々、そして、兵器の実験場ともなり、多くの人々が殺傷されているウクライナの地。平和と人権をめざす国連憲章も機能せず、私達の声(桜井市をはじめ多くの自治体決議がされている)も届かない。今、何が必要なのか。「通信」では、桜井の諸先輩が取り組んでこられた各種取組み(繋がりづくり)を担っておられる方々に登場をお願いした。是非、今秋の諸行事に参加を呼びかけた。コロナ禍ではあるが参加を通じて、お互いの存在を確認しあい、明日への希望を持てるような地域づくりを進めたい。

(編集子 K)

うるわし通信発行人  
ひがし俊克  
TEL:090-3652-8104